



2021年2月4日発行 186号
三浦半島地区委員会公郷 2-1-9
046-851-1123
大村・携帯 090-1107-0498
ブログ [大村洋子](#) →検索



市議会・コロナ協議会の質疑を中心に報告します

Q&A
ここ
から

Q 市内の感染者の状況はどうですか？
A 2/1の感染者は9人、1/31は6人、1/30は13人です。

Q 療養場所等の状況はどうですか？
A 2/1現在で入院が140人、宿泊施設が20人、自宅療養が37人です。

Q 体内の酸素濃度を測るパルスオキシメーターは配られるのですか？
A 県から貸与されます。40歳未満の方は希望者のみとなっていますが、必要な方に渡るように市も丁寧に取り扱います。

Q 市内の感染者受け入れ病院のひっ迫状況はどうですか？
A 感染症病床は長坂の市民病院、うわまち病院、共済病院全部で99床あります。そのうち重症病床は11床です。(1/22現在で全110床中87床が使用中)

Q 県内で年末年始に自宅療養中の方が亡くなりました。とても心配です。どういう体制なのですか？
A 自宅療養者の健康観察は神奈川県業務です。LINEか電話で1日2回連絡を取っていますが、もし、連絡がつかない場合は市の保健所職員が電話か家庭訪問で確認します。

Q 宿泊施設の受け入れ状況はどうですか？
A 1人退所しても消毒作業があるためすぐ次の入所者を受け入れられないこともあります。最近落ち着いたきて、待機者はゼロです。(1/22現在)

Q PCR検査を行って陽性となった場合、どのように本人に連絡がいくのですか？
A PCRセンターで検査した場合、検査結果は保健所へ届けられます。医療機関での検査も保健所に一報がいき情報が集約されます。翌朝には保健所が本人と連絡を取り、緊急度合いによって、即日対応、もしくは翌日対応となります。

ワクチン接種について

現在わかっている横須賀市のワクチン接種の体制をお伝えします。

- ・ワクチン対応の専用冷凍庫（ディープフリーザーマイナス75℃でワクチンを保管）が国から横須賀市に24台配布される予定。
- ・ディープフリーザーは最大で23,400回分のワクチンを保管可能。
- ・集団接種会場2か所にそれぞれ1台、接種対応病院11施設に各1台、市保健施設に11台、計24台設置予定。
- ・抗体がある人もワクチンを接種します。生涯免疫取得者とは断言できないためです。
- ・副反応が生じても対象者の安全を確保できるよう、適切なスタッフと必要な薬品、機材を準備します。あわせて、救急車の手配等、消防局と連携をはかる。
- ・予防効果、持続期間は今のとこと明確になっていません。
- ・ファイザーのワクチンは16歳以上が接種対象となっています。



・横須賀市民33万7,000人が対象。接種は2回なので、計67万4,000回分となります。

・接種会場は横須賀アリーナともう1か所を想定しています。

・集団接種会場1か所あたり、医師1人、看護師25人、事務員5人以上の体制を想定。3か月間休みなしで連続開設を予定。

- ・集団接種会場は土日休日も含め午前9時から午後4時まで対応予定。
- ・1時間で30人を想定。受付、問診、接種、副反応観察を1つのサイクルとして換算。
- ・接種者同士の動線を確保するなど接種会場の感染防止策を講じます。
- ・案内は世帯ごとではなく、個人あてに接種クーポンを封入し郵送。3月上旬に届く予定。接種予約はコールセンターで行います。3週間後に2回目の接種を行います。
- ・3か月で6割の対象市民が摂取できることを目指します。（詳細は3月の広報よこすか参照）

市議会報告・市政相談・生活相談などに伺います。お声をかけてください。まずはお電話を！

